

行田市学校跡地利活用基本方針（案）に対する市民意見と対応一覧

	意見等の概要	対応	案の修正
1	「1 基本方針策定の背景と目的」に「地域の活性化に向けた新たな拠点となるよう」とある。その方向で進めてほしい。	地域の活性化に資する跡地活用となるよう進めてまいります。	なし
2	「3 本市の重要施策等との整合」に、「行田市立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画」がある。「再編成計画」をどう考えているのか。計画にある北部義務教育学校設立に向け開校準備委員会を作り準備していたのに、計画は白紙になり委員会は解散となった。地域に混乱を引き起こし、行政不信を招いた。人口の少ない地域は切りすてられ、犠牲にして行政が進められるのだという思いを強くした。 こうした経緯を経て廃校となった北河原小学校の有効活用を決めるとき、大切なのは「再編成計画」のような無責任な計画作成ではなく、責任ある計画でなければならない。	学校跡地の利活用につきましては、本方針でお示しした基本的な考え方に基づき、地域の皆様の意向、民間事業者のニーズ等を把握した上で、学校ごとに個別具体的な活用計画を取りまとめて事業化を進めてまいります。 また、進捗状況につきましてはホームページなどを通じて、随時報告させていただきます。	なし
3	市が策定する計画は、地域住民の意見を反映し、職員が策定しているのか疑問である。専門業者に任せているだけではないか。	市が策定する計画は、最上位の総合振興計画を始め、福祉や環境等、様々な分野のものがあり、専門的な知見を要する場合もあることから、そうした際には策定作業の一部で事業者からの支援を受けることもありますが、市としての考え方を基に、意見交換や修正などを積み重ね策定しております。	なし

	意見等の概要	対応	案の修正
4	「6 検討体制と検討の進め方」に「必要に応じ、外部の知見も取り入れるなど庁内外の意見を幅広く集約し、検討する。」「地域の意向を把握するために、アンケート調査や意見交換会等を実施する。」とある。形式的に実施しているだけでは、行政が実施したというアリバイ作りを目的にしているように思える。地域の意見が十分に取入れられる体制を作り進めていただきたい。	跡地活用について検討する場合には、行政の考えだけではなく、意見交換会の実施など地域の皆様のご意見も十分伺えるよう体制を整え進めてまいります。	なし
5	「6 検討体制と検討の進め方」に「ニーズの把握」とある。ニーズの把握の基礎は地域の状況を把握することであり、人口、高齢化率、主要な産業などを把握することが大切である。5年後、10年後の地域の姿を考慮し、どのように地域のコミュニティを維持していくかを考える中で、学校施設の活用方法も見えるのではないかな。	人口など統計上の基礎データについては、整理し地域の状況を把握いたします。 また、跡地活用の方法については、地域の皆様のご意向や民間事業者のニーズ等を踏まえ、検討することとしております。跡地活用について、地域の活性化が図れるよう進めてまいります。	なし
6	現在、市内で農業を営んでいる。経営の拡大を考えているが、農地の確保がスムーズに進まない。学校跡地を借り受け、ハウスの新設を行うことは可能か。	学校跡地活用コンセプトや条件等については、令和4年度中の策定を予定している個別活用計画に記載いたします。策定に当たっては、地域の皆様のご意向や民間事業者のニーズ等を踏まえ検討することとしております。計画を策定しましたらホームページ等でお知らせいたします。	なし

	意見等の概要	対応	案の 修正
7	数年前、行田市へ引っ越してきた際、小学生以下の子どもたちをもつ親として感じたのは、子どもを遊ばせる場所が少ないということであった。引っ越す前の自治体では、室内の遊び場が数か所あり、安心して遊ばせることができた。広い公園では親の目が届かず、子供たちを自由に遊ばせるのも不安であるので、行田市にも室内の遊び場が欲しい。 また、昨今の子を虐待するニュースを見るととても悲しく、母親達が子ども達を遊ばせながら、お話しして飲食もでき、相談にも乗れるような場所が必要であると思っている。子育て関連の施設の割合が、市の公共施設の 1.6%ととても低いので、地域で子育てしていくためにも跡地を子育て関連施設としても活用していただきたい。	学校跡地については、地域の皆様のご意向や、民間事業者のニーズを踏まえ、跡地活用を検討してまいります。ご要望の子ども向けの室内の遊び場や、親が子を遊ばせながら相談もできるような子育て関連施設につきましては、今後の子育て支援施策の推進に当たり、参考とさせていただきます。	なし